

事業実績書

事業名	ふるさとの川と森を守れ！灰塚川「千年の森」づくり	
場所	沼津市 大平地内	
期間	平成29年 7月1日 ～ 平成30年 3月31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	9/11 (月) 10:00 ～ 16:00	<p><u>1. 灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ（1回）</u></p> <p>昨年度のワンデイチャレンジ実施箇所より延長した約200mの左岸中流部区間において、荒廃竹林の伐採とチップ化、表出したゴミの集積作業を行った。一連の作業は、市民や学生のボランティア、スタッフ、インストラクター延べ50名で対応した。</p> 
	11/25 (土) 20:00 ～ 21:00	<p><u>2. 灰塚川環境セミナー（2回）</u></p> <p>第1回</p> <p>当会の渡辺専務理事を講師とし、灰塚川の自然環境の貴重性と環境悪化の現状、保全整備の重要性、および今後の活動方針等に関する説明会を行った。大平地区連合会の地区委員や自治会長など約50名がこれに参加した。これまでの当会による森づくり活動のノウハウや、沼津市・三島市の市民の連携による活動等について提案・意見交換を行った。</p> 

3/3
(土)
13:30
～
16:00

第2回

当会の渡辺専務理事を講師とし、灰塚川の現状の課題点と解決策・提案を確認・共有するためのワークショップを開催した。市民や灰塚川での活動に長年携わってきた当会のインストラクター、スタッフ等15名が参加した。参加者からの意見は、「管理・安全対策」や「周辺アクセス」、「道・施設」、「環境」、「普及・啓発」といったカテゴリーにまとめられ、沼津市・三島市の市民間の合意形成に向けた意見集約を進めることができた。



3. 灰塚川河畔林「千年の森」づくり植樹・保育活動（1回）

4. 灰塚川植樹地造成工事

1/27
(土)
～
1/29
(月)

昨年度からのワンデイチャレンジの竹林伐採・植樹箇所を中心に、保育活動と新たな植樹、植樹地造成工事を延べ3日間実施した。対象地をまず重機で起こし、竹等の根の抜根、埋戻し、法面整地を行った後、前回伐採した竹チップを肥料として使用し、ケヤキ等の12種類におよぶ在来自然植生を、計200本、植樹した。掘削に伴い表出したゴミも集積した。一連の作業は、市民や学生のボランティア、スタッフ、インストラクター延べ30名で対応した。



5. 灰塚川自然観察会（3回）

①3/21（水）第1回松毛川自然遊びの会

「春の手づくり図鑑とパチンコをつくろう！」という内容で実施予定であったが、当日雨天のため、中止とした。

②3/24（土）灰塚川「千年の森」づくり・サクラ植樹体験会

灰塚川に流れ込む水路沿いの空き地に、地権者の了承のもと、当地のシンボルとなる景観用樹木として6種のサクラを選定し、参加者とともに植樹活動を行った。同時に、河畔周辺を散策し、講師による解説のもと、灰塚川の河畔林に生育する樹木の解説や、その貴重性、環境悪化の実態、これまでの当会による取り組み内容について参加者に学んでいただいた。



事業内容

③3/25（日）第2回松毛川自然遊びの会

「食べられる野草を探して食べてみよう！」という内容で、灰塚川周辺を散策しながら、講師による解説のもと、参加者に食べられる野草を探してもらい、収穫した。また、木の葉や木の実、枝切れなど、自然にある様々な素材を用いた昔ながらの「遊び」を、子ども達に楽しんでもらった。収穫した野草（ノビル、ハルジオン、スイバ、ツクシ、カラスノエンドウ、タンポポ等）は、講師にその場で調理していただき、ツクシと塩昆布のあえ物や、野草やきそば、タンポポ茶といった、他では味わうことのできない野草料理を参加者全員に堪能してもらった。



実施項目	作業項目（実施月日）	参加人数	
		計画	実績
灰塚川自然観察会	第1回松毛川自然遊びの会 (3/21)	50	—
	サクラ植樹体験会 (3/24)		15
	第2回松毛川自然遊びの会 (3/25)		15
灰塚川環境セミナー	現況説明・意見交換会 (11/25)	100	50
	ワークショップ (3/3)		15
灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ	竹伐採、竹チップ化、ゴミ処理 (9/11)	30	50
植樹造成工事	抜根、埋戻し、法面整地、竹チップ散布 (1/27~1/29)	30	30
灰塚川「千年の森」づくり	植樹体験会（苗木200本植樹）(1/27)	50	30
		260	205

事業効果	<p>①灰塚川左岸（沼津市大平）の河畔に繁茂していた竹を、約 200 ㎡にわたり伐採するとともに、抜根を行い、土中のゴミを分別処理することができた。</p> <p>②抜根が完了した河畔には、被覆土を入れて整形することで、新たな植樹地を造成し、潜在自然植生の苗木 200 本を植樹することができた。</p> <p>③今後、これらの植樹木が成長し、新たな河畔林として成長することで、灰塚川の原風景である河畔林の再生が期待できる。</p> <p>④今回の灰塚川「千年の森」づくり事業の推進にあたっては、大平地区連合自治会の協力を継続して仰ぐことができた。当該地域の河畔林保全活動に対する沼津市民の認知度や参加意識は、川の対岸である三島市側に比べればやや低かったが、今後は大平地区の住民を中心とした沼津市民の参加者の増加が期待できる。</p> <p>⑤また、本事業で実施した河畔林再生ワンデイチャレンジ、植樹地造成工事、千年の森づくり活動、自然観察会（下草刈り、清掃活動、植樹体験等）には、沼津市民を中心に、延べ約 205 名が参加した。こうした一連の取組みにより、灰塚川の生態系の貴重性・重要性、植樹活動の意義について、とくに大平地区を中心とした沼津市民への理解の促進がより進んだと考えられる。あわせ、当該地における外来生物やゴミの投棄、竹害といった諸問題を今後とも沼津市民に意識してもらおう良き契機になったと考えられる。</p>
今後の活動予定	<p>平成 30 年度は、面積的には今年度と同様、約 200 ㎡の灰塚川左岸下流部の荒廃竹林の伐採作業、抜根作業、自然堤防造成を進めることで、新たな植樹地の増加を図る。また、灰塚川自然ガイドブックの作成、小中学校（PTA・教職員含む）への配付を通じ、年齢や職業、性別に関係なくより広範囲に渡る沼津市民に、当該地区の存在そのものや、その貴重な自然環境について啓蒙を促す。また環境大平地区住民を対象とした環境セミナー、地元の小中学校を対象とした出前講座も引き続き実施し、これらの取組みによって灰塚川への認知度の更なる高まり、地元市民等による自主的な河畔林保全活動への参加が期待できる。</p> <p>さらに、今後の当事業の推進にあたっては、大平地区等の沼津市側の住民と、御園地区など三島市側の住民、及び地元企業、行政（沼津市、三島市、静岡県東部農林事務所等）との「地域協働」による展開が望まれ、これらの連携のための活動も行っていく。</p>
自己評価	<p>これまで三島市の住民を中心に進められてきた当該地の保全再生活動は、平成 28 年度から開始した本事業を通して、徐々に沼津市住民へも浸透しており、両市の市民参加による新たな「地域協働」の仕組みをより強固なものへとすることができた。</p> <p>今後はさらに沼津市等の行政の協力を得るとともに、チップ化した竹の有効活用を模索するなど、環境保全活動と経済活動を結び付け、地域住民の受益にもつながるような手順を展開していきたい。</p>